

国の職員・資機材等の緊急輸送

- 施設敷地緊急事態発生後の通報後、あらかじめ定められた100名程度の国の職員等をオフサイトセンター（島根県原子力防災センター）及び島根県、鳥取県に派遣。併せて必要な資機材の緊急輸送を実施。
- その後、状況に応じて追加要員及び資機材の緊急輸送を実施。



オフサイトセンターの放射線防護対策・電源対策

➤ 島根県原子力防災センターは、耐震構造、鉄筋コンクリート造3階建ての構造になっている。

【放射線防護対策】

・放射性物質除去フィルター、換気設備、シャッター改修等の気密性向上を実施済み。

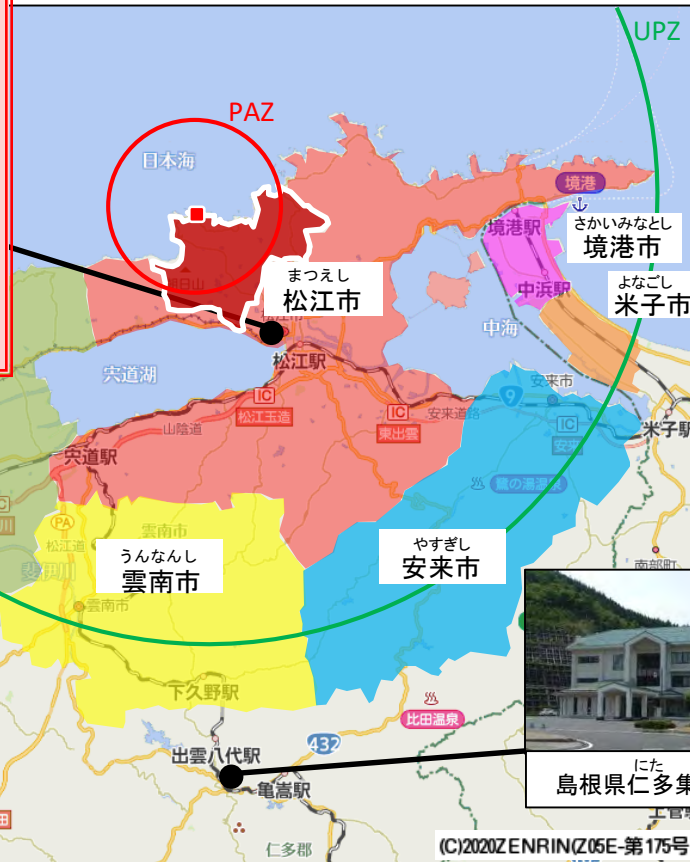
【電源対策】

・無停電電源装置、自家用発電機を設置(7日間分を確保)。

・自家用発電機の燃料不足時等には、電源車用電源受け口より、中国電力が用意する電源車で継続して電源を確保。



まつえし
島根県原子力防災センター(松江市)
(発電所からの距離約8.5km)



仮にオフサイトセンターが機能不全に陥った場合でも、代替オフサイトセンターに移動し、対応可能

○島根県出雲合同庁舎(出雲市)約:28.3km

(自家用発電機により、約4日間稼働可)

○島根県仁多集合庁舎(奥出雲町)約:38.5km

(自家用発電機により、約3日間稼働可)

※距離は、いずれも発電所からの直線距離



いずも
島根県出雲合同庁舎



仁た
島根県仁多集合庁舎